

# 平成27年(2015年)11月の結果 (二人以上の世帯)

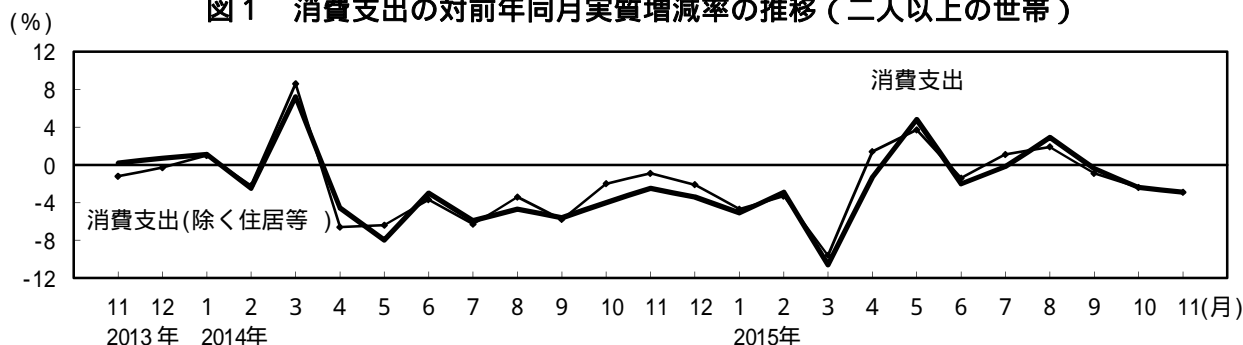
## 二人以上の世帯

・消費支出は、	1世帯当たり 273,268 円		
前年同月比	実質 2.9%の減少	前月比(季節調整値)	実質 2.2%の減少
	名目 2.5%の減少		
・消費支出(除く住居等)は、	1世帯当たり 236,901 円		
前年同月比	実質 2.9%の減少	前月比(季節調整値)	実質 1.8%の減少
	名目 2.5%の減少		
・勤労者世帯の実収入は、	1世帯当たり 425,692 円		
前年同月比	実質 1.8%の減少		
	名目 1.4%の減少		

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

## 1 消費支出の推移

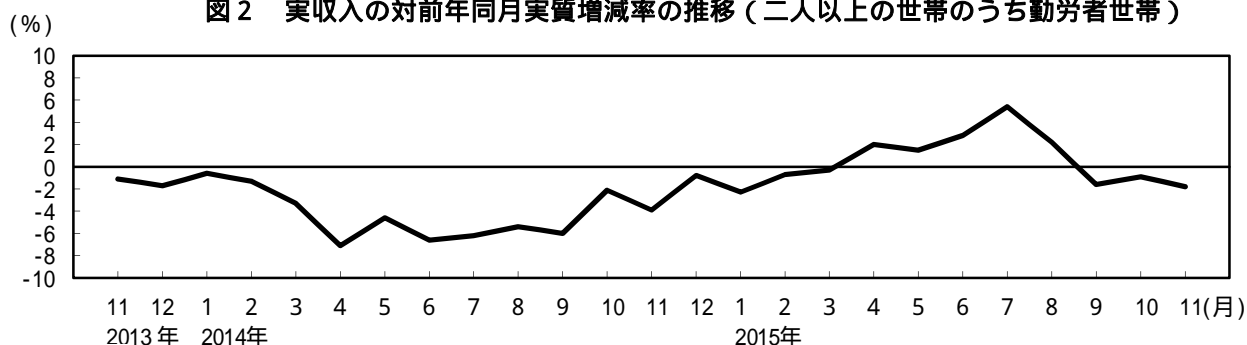
図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)



	2014年		2015年										
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
消費支出	-2.5	-3.4	-5.1	-2.9	-10.6	-1.3	4.8	-2.0	-0.2	2.9	-0.4	-2.4	-2.9
消費支出(除く住居等)	-0.9	-2.1	-4.7	-3.3	-9.6	1.4	3.7	-1.4	1.1	1.9	-0.9	-2.4	-2.9

## 2 勤労者世帯の収入の推移

図2 実収入の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	2014年		2015年										
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
実収入	-3.9	-0.8	-2.3	-0.7	-0.3	2.0	1.5	2.8	5.4	2.2	-1.6	-0.9	-1.8
可処分所得	-3.9	-0.3	-2.5	-0.5	-1.1	2.3	1.5	1.7	5.0	1.8	-1.2	-0.3	-2.5
消費支出	-1.2	-3.0	-4.3	-3.6	-11.0	0.5	7.5	-1.4	0.7	3.4	-1.7	-2.3	-4.1
平均消費性向*	2.4	-1.3	-1.6	-2.3	-10.7	-1.5	5.5	-1.6	-2.8	1.3	-0.4	-1.6	-1.4

\*：対前年同月ポイント差

### 3 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（2015年11月 - 二人以上の世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率 へ の 寄 与 度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	273,268	-2.5	-2.9	-		3 か月連続の実質減少
食 料	70,111	1.9	-1.0	-0.25	<減 少> 外食,野菜・海藻など	5 か月ぶりの実質減少
住 居	18,752	19.0	18.4	1.03	<増 加> 設備修繕・維持,家賃地代	4 か月連続の実質増加
光 熱 ・ 水 道	19,064	-7.8	-1.1	-0.08	<減 少> 電気代,他の光熱など	2 か月連続の実質減少
家具・家事用品	10,250	-0.8	-2.8	-0.10	<減 少> 寝具類,家事雑貨など	5 か月ぶりの実質減少
被 服 及 び 履 物	12,390	-12.2	-13.8	-0.69	<減 少> 洋服,シャツ・セーター類など	4 か月連続の実質減少
保 健 医 療	13,403	-3.1	-3.8	-0.19	<減 少> 保健医療サービス,保健医療用品・器具など	4 か月連続の実質減少
交 通 ・ 通 信	39,438	-4.6	-1.9	-0.27	<減 少> 自動車等関係費,交通	3 か月連続の実質減少
教 育	9,043	1.9	0.4	0.01	<増 加> 授業料等,教科書・学習参考教材	2 か月ぶりの実質増加
教 養 娛 楽	27,179	-3.4	-5.8	-0.57	<減 少> 教養娯楽用耐久財,教養娯楽用品など	3 か月連続の実質減少
その他の消費支出	53,637	-8.2	(-8.6)	(-1.78)	<減 少> 交際費,こづかいなど	6 か月連続の実質減少
消 費 支 出 ( 除 く 住 居 等 )	236,901	-2.5	-2.9	-		3 か月連続の実質減少

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の（ ）内は、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

#### 消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

##### 中 分 類

##### 品 目

##### < 減少項目 >

##### 実質寄与度

交際費	[-1.16]	.....	贈与金,住宅関係負担費
自動車等関係費	[-0.76]	.....	自動車購入,自動車整備費
教養娯楽用耐久財	[-0.37]	.....	テレビ,パーソナルコンピュータ
洋服	[-0.33]	.....	背広服,婦人用コート
シャツ・セーター類	[-0.18]	.....	婦人用セーター,ワイシャツ
電気代	[-0.13]		
保健医療サービス	[-0.13]	.....	他の入院料,医科診療代

##### < 増加項目 >

設備修繕・維持	[0.96]	.....	外壁・塀等工事費,火災・地震保険料
通信	[0.49]	.....	移動電話通信料,固定電話通信料
上下水道料	[0.17]		

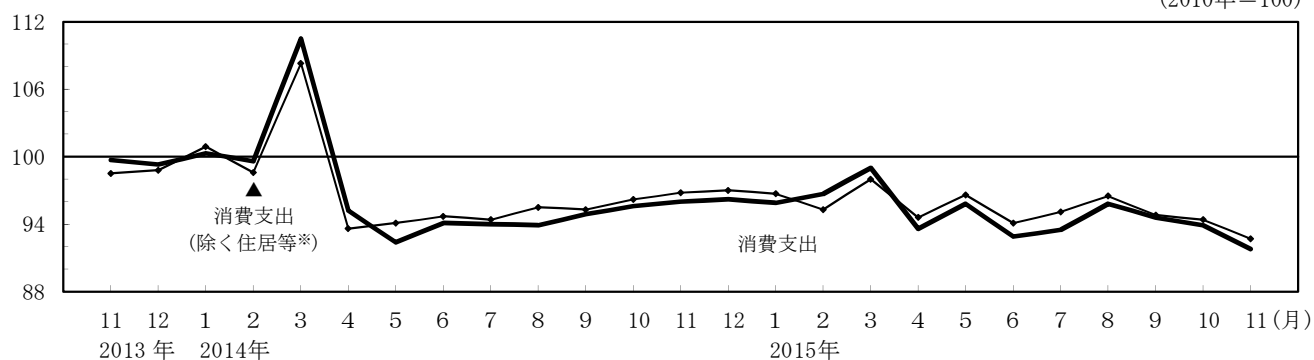
注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

\* 「他の入院料」とは、「出産入院料」以外の入院料をいう。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移（二人以上の世帯）

(2010年=100)



	2014年		2015年										
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
消費支出	96.0	96.2	95.9	96.7	99.0	93.6	95.8	92.9	93.5	95.8	94.6	93.9	91.8
対前月変化率(%)	0.4	0.2	-0.3	0.8	2.4	-5.5	2.4	-3.0	0.6	2.5	-1.3	-0.7	-2.2
消費支出(除く住居等※)	96.8	97.0	96.7	95.3	98.0	94.6	96.6	94.1	95.1	96.5	94.8	94.4	92.7
対前月変化率(%)	0.6	0.2	-0.3	-1.4	2.8	-3.5	2.1	-2.6	1.1	1.5	-1.8	-0.4	-1.8

※：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。

2 季節調整値は、毎年1月結果公表時に、過去に遡って改定している。

## 4 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（2015年11月－二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項目	金額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減率への寄与度(%)	備考
		名目	実質		
実収入	425,692	-1.4	-1.8	—	3か月連続の実質減少
世帯主収入	346,825	-2.8	-3.2	-2.65	4か月連続の実質減少
定期収入	341,809	-2.5	-2.9	-2.32	4か月連続の実質減少
配偶者の収入	57,099	5.8	5.4	0.68	8か月連続の実質増加
他の世帯員収入	7,312	-2.3	-2.7	-0.05	5か月連続の実質減少
非消費支出	80,680	1.9	—	—	3か月ぶりの増加
可処分所得	345,012	-2.1	-2.5	—	3か月連続の実質減少
消費支出	294,905	-3.7	-4.1	—	3か月連続の実質減少
平均消費性向(%)	85.5	(前年同月) (ポイント差) 86.9 -1.4			季節調整値でみると、73.2%で、前月に比べ、0.1ポイントの低下となった。

注1 「非消費支出」とは、税金や社会保険料など、世帯の自由にならない支出である。

「可処分所得」とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のことである。

「平均消費性向」とは、可処分所得に対する消費支出の割合である。

2 実収入には、勤め先収入(世帯主収入、配偶者の収入及び他の世帯員収入)のほか、事業・内職収入、社会保障給付、財産収入などが含まれる。